

東日本大震災への応急対応時における 支援情報の共有に関する実践的研究

中村 大樹 ・ 南 正昭

岩手大学

k nk u k knt

岩手大学

東日本大震災以後の復旧・復興に向けた多様な支援活動は、ホームページや電子メール等を通じた支援者間の情報共有により促進されてきた。しかし、どのような情報共有の形態が、応急対応時の支援活動に有効かはまだ明らかになっていない。本研究では、岩手大学の有志による東日本大震災直後の支援情報共有の実践活動を事例に、有効な支援情報共有のあり方について考察した。

参画者相互の交信記録の分析に基づき、組織としての支援活動が展開される以前の応急対応時の段階において、先行する自主的な支援者の支援活動を公開し共有するという方法で行った本実践活動を評価し、その有効性と課題をまとめた。

キーワード：東日本大震災，応急対応，情報共有